令和５年度　学校だより　学校教育目標「せいいっぱい　きたえ　のびよう　東っ子」

東白川小だより

令和５年５月 23 日(火)　№3

教頭　越野　純

気付かされることがいっぱいです

～人と人のつながりが温かい～

村の情報通信係の方にドローン撮影をしていただきました。

東白川小学校に赴任して１か月半。はっと、気付かされることが多いです。先日、来校された方が、「東白川の子たちは、目を合わせながら挨拶をしてくれるので、すごく気持ちがいいですね。」と話されました。「ありがとうございます。」と返答しながら、正直、その姿が頭に浮かびませんでした。次の日、バスから降りてくる子どもたちが、「おはようございます。」と言いながら、にっこりと目を合わせてくれていたことに気付き、自分が恥ずかしくなりました。今まで、『大きな声で、元気な挨拶をしてね』と形ばかりの指導をしてきたと反省しました。目を合わせてくれていることに気付けない、余裕のない自分。子どもたちが『先生、がんばれ！』と言ってくれているようにも感じました。また、降車の際には、運転手さんに、「ありがとうございました。」「今日も、ありがとう。」、中には、ハイタッチしている子もいます。同じバスに乗っている中学生も目が合うと、手を振ってくれます。改めて、挨拶の温かさと人と人のつながりの大切さに気付かされた時でした。

～子どもは宝。みんなで育てる温かい環境。感謝、感謝です～

左の写真は、学校に上がってくる坂道の斜面です。バスの運転手さんたちが除草してくださった際、ハートマークを作ってくださいました。登下校の際、この隣を通ります。「だんだん、ハートが大きくなってるね。」子どもたちの会話が増えます。子どもたちの喜ぶ顔を頭に浮かべながら、作業をしてくださったのではと想像できます。

また、20 日に行った恒例の『全校登山』では、役員の方や地域の方が協力してくださいました。頂上の標識やトイレの枠、登山経路の整備など、多くの方の協力で成り立っている行事であることが分かりました。関わってくださる方は、お忙しいにも関わらず、「当日は、天気やといいね。」「ここ危ないから、ロープを張ろうか。」「先生たちも、頑張ってよ。」などと、子どもたちのことはもちろん、職員にまで声をかけてくださいます。温かい環境の中で生活ができていることに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。